

### 3. 海外薬価の実態

#### 3. 1 価格の捉え方

研究に用いた各価格表では、医薬品の価格は製品の包装単位で表示されている。そこで製品の価格を包装単位で割ることによって単位(1錠、1カプセルなど)あたりの価格を求め比較を行った。

#### 3. 2 フラットプライスの定義

本報告書においてはここまで、「フラットプライス」を成分の含量に対して価格が同一である医薬品の価格形態を示す用語として使用してきたが、製品ごとの分析を行う上では、フラットプライスに該当するかどうかを切り分けるために、その定義を明確にしておかなければならない。この定義を行う上では以下の点について明らかにする必要がある。

- ・ 含量が異なっても価格が全く一定であるケースのみをフラットプライスとするか、含量に対して価格の増加がある程度の範囲内で小さいものまでを含めるか。
- ・ 含量の規格が3種類以上ある場合に一部でも価格がフラットであればフラットプライスとするか、全規格を通じて価格がフラットであるもののみをフラットプライスとするか。

本研究では、まず各国のフラットプライスの全体像をとらえるために、完全に価格がフラットであるもののほかに含量に対する価格の傾斜が小さいもの、また、製品全体を通じて価格がフラットであるもののほか、一部でもフラットな部分があるものまで含めて、フラットプライスとして抽出することにした。どの程度を「価格の傾斜が小さいもの」とするかについては、検討する必要があるが、ここでは、含量の傾きの10%以下の傾きのものを「価格の傾斜が小さいもの」とした。具体的な判定の基準は表3-1による。

表 3-1 フラットプライスの基準

条件		基準
該当条件1	規格間の含量に対する価格の傾斜	2規格間の価格の傾斜(価格比-1) / (含量比-1) <sup>1</sup> の絶対値が0.1以下のものをフラットプライスとする。
該当条件2	含量規格が3規格以上ある場合	2規格の間で該当条件1によりフラットプライスとなっている組合せが一つでも含まれていればフラットプライスとする。

<sup>1</sup>含量に価格が比例している場合1、完全なフラットプライスの場合0となる。

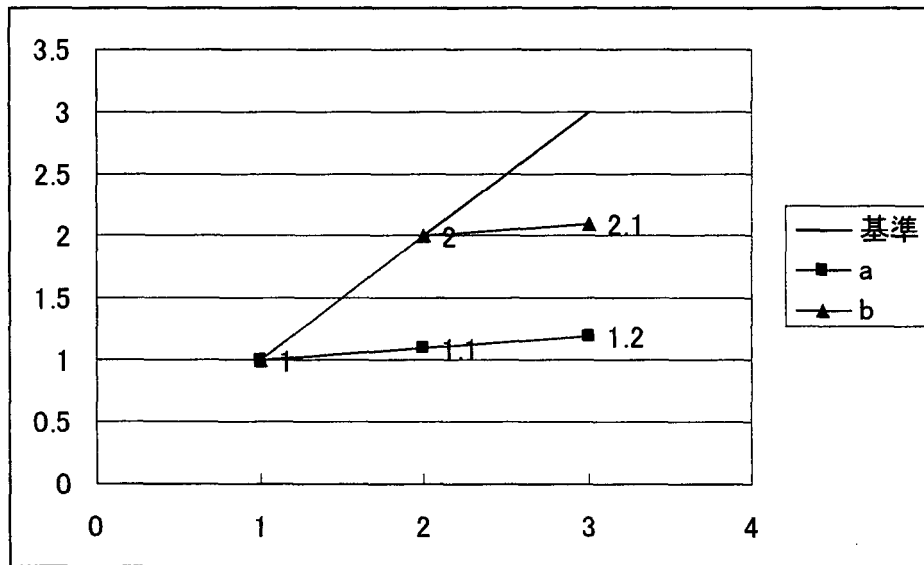


図 3-1 フラットプライスの例示

図 3-1はフラットプライスの定義の説明を補足するための例を、X軸を含量、Y軸を最低含量の価格に対する規格ごとの価格比としてグラフ化したものである。

価格が含量に比例する場合、bは含量1と含量2の間では、価格が含量に比例しているが、含量2と含量3の間で、傾斜が0.1以下であるため、bもフラットプライスに該当するものとしている。

### 3. 3 結果

#### 3. 3. 1 全体

含量規格が複数ある成分は、全部で473成分であり、そのうち1カ国でもフラットプライスのある成分は169成分(35.7%)であった(次頁以降に掲載する表3-2の全体の行)。

表 3-2 国別フラットプライスの状況

薬効分類	米 国			独 国			英 国			仏 国			全 体		
	複数規格	フラットプライス	比率	複数規格	フラットプライス	比率	複数規格	フラットプライス	比率	複数規格	フラットプライス	比率	複数規格	フラットプライス	比率
112 催眠鎮静剤・抗不安剤	15	3	20.0%	13	7	53.8%	9	2	22.2%	5	0	0.0%	23	12	52.2%
113 末梢神経用剤	12	2	16.7%	13	2	15.4%	6	2	33.3%	6	1	16.7%	17	4	23.5%
114 解熱鎮痛消炎剤	13	2	15.4%	11	5	45.5%	16	1	6.3%	8	0	0.0%	22	6	27.3%
115 興奮剤・覚せい剤	4	1	25.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%	4	1	25.0%
116 抗パーキンソン剤	2	2	100.0%	9	1	11.1%	4	1	25.0%	2	0	0.0%	10	3	30.0%
117 末梢神経用剤	32	14	43.8%	29	6	20.7%	31	6	19.4%	18	0	0.0%	53	21	39.6%
119 その他の中枢神経系用薬	5	5	100.0%	5	2	40.0%	2	0	0.0%	3	2	66.7%	6	5	83.3%
122 骨格筋弛緩剤	3	0	0.0%	0	0	0.0%	1	0	0.0%	1	0	0.0%	3	0	0.0%
123 自律神経剤	1	0	0.0%	2	1	50.0%	1	0	0.0%	0	0	0.0%	4	1	25.0%
124 鎮けい剤	2	1	50.0%	2	0	0.0%	2	0	0.0%	0	0	0.0%	4	1	25.0%
131 眼科用剤	2	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%	2	0	0.0%
133 鎮暈剤	0	0	0.0%	1	1	100.0%	1	0	0.0%	1	0	0.0%	1	1	100.0%
211 強心剤	1	1	100.0%	3	1	33.3%	1	1	100.0%	0	0	0.0%	3	2	66.7%
212 不整脈用剤	13	5	38.5%	10	2	20.0%	10	3	30.0%	5	1	20.0%	16	7	43.8%
213 利尿剤	7	1	14.3%	7	1	14.3%	5	2	40.0%	2	0	0.0%	10	4	40.0%
214 血圧降下剤	30	22	73.3%	37	10	27.0%	29	8	27.6%	22	2	9.1%	45	27	60.0%
216 血管収縮剤	5	3	60.0%	4	3	75.0%	1	0	0.0%	0	0	0.0%	8	6	75.0%
217 血管拡張剤	8	2	25.0%	7	3	42.9%	7	2	28.6%	9	1	11.1%	13	8	61.5%
218 高脂血症用剤	8	5	62.5%	7	0	0.0%	7	5	71.4%	5	0	0.0%	11	6	54.5%
219 その他の循環器官用薬	1	0	0.0%	3	0	0.0%	0	0	0.0%	1	0	0.0%	5	0	0.0%
221 呼吸促進剤	0	0	0.0%	1	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%	1	0	0.0%
222 鎮咳剤	1	0	0.0%	0	0	0.0%	1	1	100.0%	0	0	0.0%	2	1	50.0%
223 去痰剤	0	0	0.0%	1	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%	1	0	0.0%
224 鎮咳去痰剤	0	0	0.0%	2	0	0.0%	2	0	0.0%	0	0	0.0%	2	0	0.0%
225 気管支拡張剤	3	0	0.0%	2	2	100.0%	3	1	33.3%	2	1	50.0%	5	3	60.0%

231	止瀉剤・整腸剤	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%	1	0	0.0%	1	0	0.0%
232	消化性潰瘍用剤	6	1	16.7%	8	1	12.5%	7	0	0.0%	6	0	0.0%	10	2	20.0%
234	制酸剤	0	0	0.0%	4	0	0.0%	1	0	0.0%	1	0	0.0%	4	0	0.0%
236	利胆剤	0	0	0.0%	1	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%	1	0	0.0%
239	その他の消化器用薬	2	0	0.0%	2	0	0.0%	0	0	0.0%	4	0	0.0%	5	0	0.0%
241	脳下垂体ホルモン剤	1	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%	1	0	0.0%	1	0	0.0%
243	甲状腺 副甲状腺ホルモン剤	4	2	50.0%	3	2	66.7%	2	1	50.0%	2	0	0.0%	7	3	42.9%
245	副腎ホルモン剤	3	0	0.0%	7	2	28.6%	4	0	0.0%	3	0	0.0%	11	2	18.2%
247	卵胞・黄体ホルモン剤	4	0	0.0%	3	1	33.3%	2	0	0.0%	2	1	50.0%	6	1	16.7%
251	泌尿器用剤	2	1	50.0%	1	1	100.0%	2	1	50.0%	0	0	0.0%	2	1	50.0%
259	その他の泌尿生殖器管 肛門用薬	4	4	100.0%	3	2	66.7%	4	1	25.0%	1	0	0.0%	4	4	100.0%
263	化膿性疾患用剤	0	0	0.0%	1	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%	1	0	0.0%
267	毛髪用剤	1	0	0.0%	1	0	0.0%	0	0	0.0%	1	0	0.0%	1	0	0.0%
269	その他の外用用剤	1	0	0.0%	1	0	0.0%	1	0	0.0%	0	0	0.0%	2	0	0.0%
279	その他の外用用剤	1	1	100.0%	1	0	0.0%	1	1	100.0%	0	0	0.0%	1	1	100.0%
311	ビタミンA・D剤	1	1	100.0%	4	0	0.0%	2	1	50.0%	1	0	0.0%	5	2	40.0%
312	ビタミンB1剤	0	0	0.0%	0	0	0.0%	1	0	0.0%	0	0	0.0%	1	0	0.0%
313	ビタミンB剤	0	0	0.0%	1	1	100.0%	1	1	100.0%	1	1	100.0%	1	1	100.0%
314	ビタミンC剤	0	0	0.0%	1	1	100.0%	1	1	100.0%	0	0	0.0%	1	1	100.0%
316	ビタミンK剤	0	0	0.0%	1	1	100.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%	1	1	100.0%
319	その他のビタミン剤	1	0	0.0%	2	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%	3	0	0.0%
322	無機質製剤	0	0	0.0%	3	1	33.3%	0	0	0.0%	1	0	0.0%	4	1	25.0%
333	血液凝固阻止剤	1	1	100.0%	0	0	0.0%	2	1	50.0%	1	0	0.0%	2	1	50.0%
339	その他の血液・体液用剤	1	1	100.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%	1	1	100.0%
391	肝臓疾患用剤	0	0	0.0%	1	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%	1	0	0.0%
392	解毒剤	1	0	0.0%	3	0	0.0%	1	0	0.0%	0	0	0.0%	4	0	0.0%
394	痛風治療剤	0	0	0.0%	1	0	0.0%	1	0	0.0%	0	0	0.0%	1	0	0.0%
396	糖尿病用剤	8	2	25.0%	6	2	33.3%	7	1	14.3%	7	2	28.6%	14	6	42.9%
399	他に分類されない代謝性薬	7	2	28.6%	7	0	0.0%	7	3	42.9%	6	1	16.7%	15	4	26.7%

419	その他の細胞賦活用剤	0	0	0.0%	1	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%	1	0	0.0%
421	アルキル化剤	2	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%	2	0	0.0%
422	代謝拮抗剤	2	0	0.0%	1	0	0.0%	1	0	0.0%	0	0	0.0%	2	0	0.0%
423	抗腫瘍性抗生物質製剤	0	0	0.0%	1	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%	1	0	0.0%
429	その他の腫瘍用剤	0	0	0.0%	1	0	0.0%	2	0	0.0%	2	0	0.0%	3	0	0.0%
441	抗ヒスタミン剤	2	1	50.0%	0	0	0.0%	1	0	0.0%	1	0	0.0%	3	1	33.3%
449	その他のアレルギー用薬	3	2	66.7%	2	1	50.0%	0	0	0.0%	1	1	100.0%	3	2	66.7%
611	グラム陽性菌に作用するもの	2	0	0.0%	2	0	0.0%	1	0	0.0%	1	1	100.0%	3	1	33.3%
613	グラム陽性菌に作用するもの	9	0	0.0%	7	0	0.0%	7	0	0.0%	5	0	0.0%	13	0	0.0%
614	グラム陽性菌マイコプラズマ作用もの	3	1	33.3%	1	0	0.0%	3	1	33.3%	4	0	0.0%	6	2	33.3%
615	グラム陽性菌リケッチアに作用もの	3	0	0.0%	2	0	0.0%	2	0	0.0%	2	0	0.0%	3	0	0.0%
616	抗酸菌に作用するもの	1	0	0.0%	1	0	0.0%	1	0	0.0%	0	0	0.0%	1	0	0.0%
617	カビに作用するもの	3	0	0.0%	2	0	0.0%	2	0	0.0%	1	0	0.0%	4	0	0.0%
622	抗結核剤	1	0	0.0%	2	1	50.0%	1	0	0.0%	1	0	0.0%	2	1	50.0%
623	抗結核剤	2	1	50.0%	1	0	0.0%	1	0	0.0%	0	0	0.0%	2	1	50.0%
624	合成抗菌剤	4	1	25.0%	2	0	0.0%	1	0	0.0%	0	0	0.0%	4	1	25.0%
625	抗ウイルス剤	10	3	30.0%	5	1	20.0%	3	0	0.0%	5	0	0.0%	13	3	23.1%
629	その他の化学療法剤	4	1	25.0%	3	2	66.7%	3	0	0.0%	1	0	0.0%	7	3	42.9%
641	抗原虫剤	1	0	0.0%	0	0	0.0%	1	0	0.0%	1	0	0.0%	3	0	0.0%
642	駆虫剤	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%	1	0	0.0%	1	0	0.0%
811	あへんアルカロイド系麻薬	4	0	0.0%	4	0	0.0%	2	1	50.0%	2	0	0.0%	5	1	20.0%
821	合成麻薬	2	0	0.0%	1	1	100.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%	3	1	33.3%
その他		1	0	0.0%	3	1	33.3%	0	0	0.0%	3	0	0.0%	6	1	16.7%
全体		276	95	34.4%	277	69	24.9%	218	49	22.5%	160	15	9.4%	473	169	35.7%
全体(薬効分類が特定できないものを除く)		275	95	34.5%	274	68	24.8%	218	49	22.5%	157	15	9.6%	467	168	36.0%

### 3. 3. 2 国別の状況

国別にフラットプライスのある成分数を見てみると、米国 276 成分中 95 成分 (34.4%)、ドイツ 277 成分中 69 成分 (24.9%)、イギリス 218 成分中 49 成分 (22.5%)、フランス 160 成分中 15 成分 (9.4%) であった。

### 3. 3. 3 薬効群別の状況

薬効群が特定できた 467 成分について分析を行った。全体では、168 成分 36.0% にいずれかの国でフラットプライスがあった。

フラットプライスが 2 成分以上ある薬効群で、フラットプライスがある成分の割合が高かったのは、259(その他の泌尿生殖器官及び肛門用薬—主として ED 治療薬) : 4 成分中 4 成分 (100%)、119(その他の中枢神経用薬—主としてアルツハイマー型痴呆治療薬) : 6 成分中 5 成分 (83.3%)、216(血管収縮剤) : 8 成分中 6 成分 (75%)、211(強心剤) : 3 成分中 2 成分 (66.7%)、449(その他のアレルギー用薬—主としてロイコトリエン拮抗薬) : 3 成分中 2 成分 (66.7%)、217(血管拡張剤) : 13 成分中 8 成分 (61.5%)、214(血圧降下剤) : 45 成分中 27 成分 (60.0%)、225(気管支拡張剤) : 5 成分中 3 成分 (60.0%)、218(高脂血症用剤) : 11 成分中 6 成分 (54.5%)、112(催眠鎮静剤、抗不安剤) : 23 成分中 12 成分 (52.2%)、212(不整脈用剤) : 16 成分中 7 成分 (43.8%)、396(糖尿病用剤) : 14 成分中 6 成分 (42.9%)、423(甲状腺、副甲状腺ホルモン剤) : 7 成分中 3 成分 (42.9%)、629(その他の化学療法剤—主として抗真菌剤) : 7 成分中 3 成分 (42.9%) などである。循環器疾患用剤、精神神経疾患用剤に多く見られているのがわかる (図 3-2)。

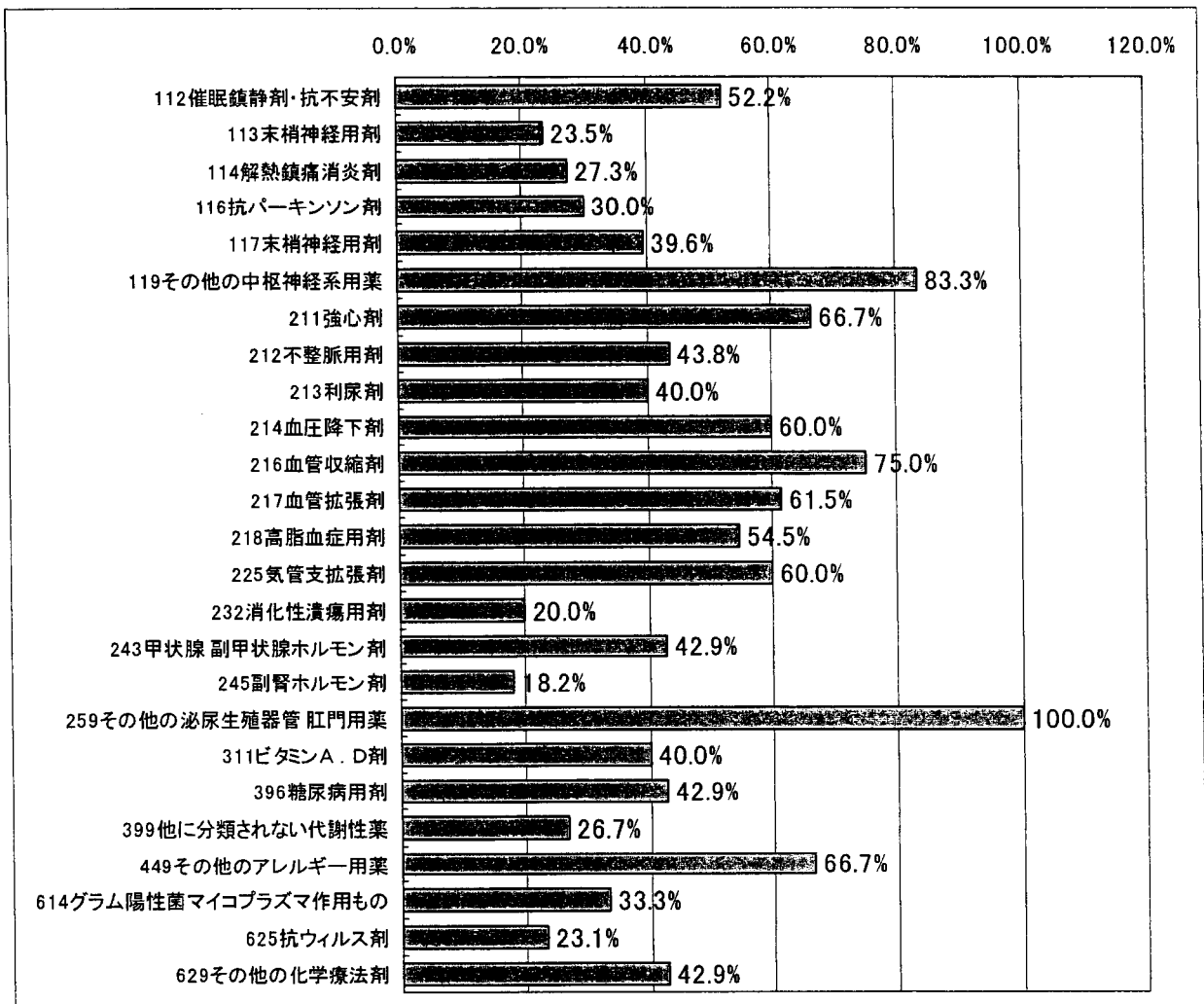


図 3-2 フラットプライスが2成分以上含まれる薬効分類におけるフラットプライス品目の率

しかしこれを国別に見てみると、例えば、214（血圧降下剤）では、米国は 30 成分中 22 成分（73.3%）と高い割合を示しているのに対し、ドイツは 37 成分中 10 成分（27.0%）、イギリスは 29 成分中 8 成分（27.6%）とそれほど高い割合となっていない。同様に 117（精神神経用剤）でも、米国が 32 成分中 14 成分（43.8%）であるのに対し、ドイツ 29 成分中 6 成分（20.7%）、イギリス 31 成分中 6 成分（19.4%）となっている。一方、112（催眠鎮静剤、抗不安剤）では、ドイツが 13 成分中 7 成分（53.8%）であるのに対し、米国 15 成分中 3 成分（20.0%）、イギリス 9 成分中 2 成分（22.2%）とドイツが他に比べて高い割合を示している。また、218（高脂血症用剤）では、イギリス 7 成分中 5 成分（71.4%）、米国 8 成分中 5 成分（62.5%）と高い割合であるのに対し、ドイツ 7 成分中 0 成分（0.0%）と際立った差が見られる（図 3-3、表 3-2）。

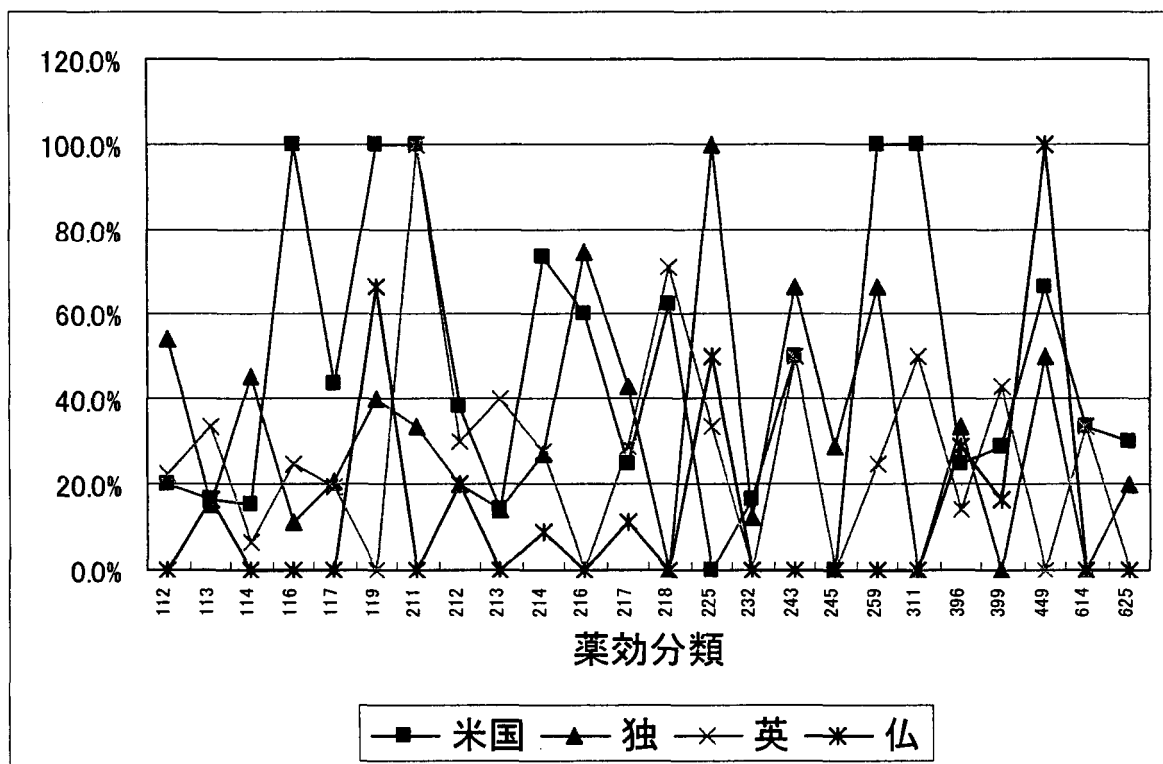


図 3-3 フラットプライスが 2 成分以上含まれる薬効分類における国別フラットプライス品目の率。



表 3-3 薬効群別、国別割合(フラットプライスが2成分以上ある薬効群を対象)

	米国		ドイツ		イギリス		フランス		全体	
	薬効分類	フラットプライスの比率	薬効分類	フラットプライスの比率	薬効分類	フラットプライスの比率	薬効分類	フラットプライスの比率	薬効分類	フラットプライスの比率
1	119,259,116	100%	225	100%	218	71.4%	119	66.7%	259	100%
2			216	75.0%	399	42.9%	396	28.6%	119,216	83.3%
3					213	40.0%	214	9.1%		
4	214	73.3%	243,259,629	66.7%	113	33.3%	—	—	211,449	66.70%
5	449	66.7%			212	30.0%	—	—		

3. 3. 4 2カ国以上でフラットプライスのある成分

2カ国以上でフラットプライスのある成分は、全部で48成分であった。このうち4カ国ともフラットプライスである成分はなく、3カ国でフラットプライスである成分は、11成分である。また、含量の複数規格がある国すべてでフラットプライスのある成分は、17成分であった。

フラットプライスなし	304
米のみ	57
独のみ	41
英のみ	18
仏のみ	5
米独	9
米英	16
米仏	3
独英	6
独仏	2
英仏	1
米独英	7
米独仏	3
米英仏	0
独英仏	1
合計	473

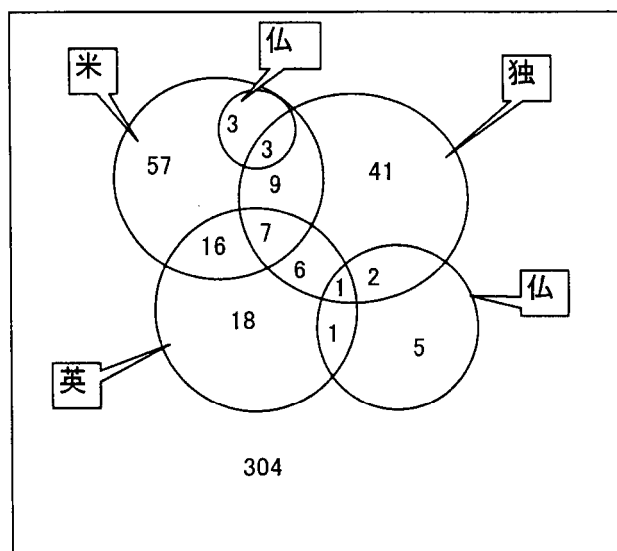


図 3-4 複数の国の間でフラットプライスに該当する成分数

### 3. 3. 5 含量に対する価格の傾斜

ドイツにおいてはフラットプライスである成分数の割合は米国に比べ小さいが、含量に対する価格の上昇率が全体的に低い傾向が見られた。

各国の主な薬効分類（海外4カ国で成分が10種類以上あるもの）について、含量に対する価格の傾斜<sup>2</sup>（含量に価格が比例している場合1、完全なフラットプライスの場合0となる）をグラフにまとめたものが図3-5である。ただし日本については4カ国のいずれかの国で含量に複数規格があるもののうち日本でも含量規格が複数あるものだけを取り上げている。

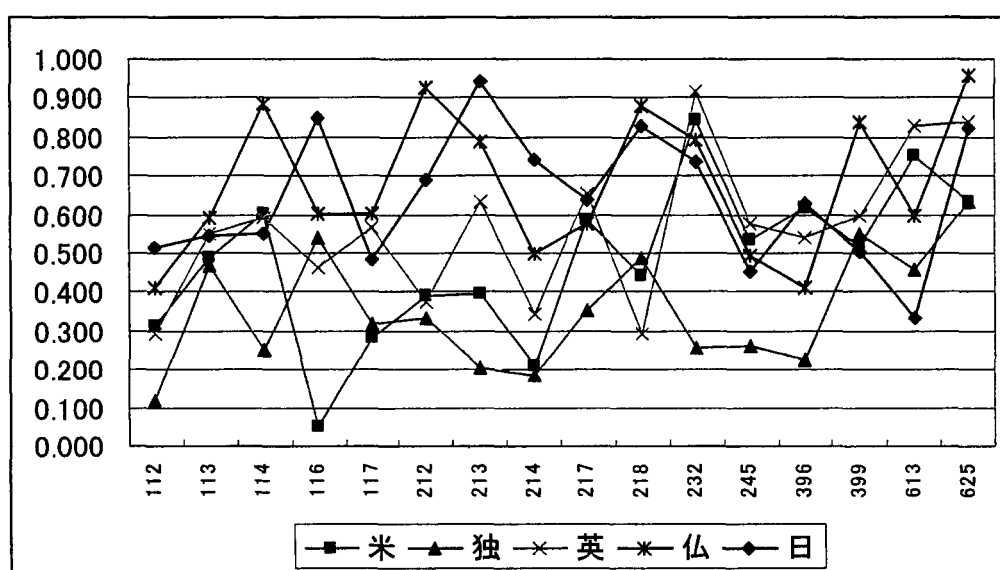


図 3-5 薬効分類別国別平均価格傾斜

全体としてみると、フランスにおいて価格の傾斜が大きく、0.8を超えるものが16分類中5つ含まれており、また11の薬効分類において4カ国の中で傾斜が最も大きい。一方で、ドイツはフラットプライスの成分数比率は米国より低いものの、価格の傾斜は116（抗パーキンソン剤）の例外を除き、ほぼ米国並かそれ以下となっており、全般的に傾斜が小さくなっている、特に114（解熱鎮痛消炎剤）、232（消化性潰瘍剤）では他国に比べ格段に低い。

米国は薬効分類による価格の傾斜について違いの幅が最も大きく、232（消化性潰瘍剤）ではフランス、英国などと同様に約0.8を超えている。

各国の傾斜の高低については、薬効分類ごとに全く異なる傾向を示しており、国ごとに異なる要因でこうした傾斜が決まっていることが想定される。

<sup>2</sup> 品目ごとに隣接する含量の間の傾斜を平均し、更に国別に薬効分類ごとに平均したもの。

### 3. 3. 6 価格の比較

試みに、通貨が同一のドイツとフランスについて、価格の傾斜が大きく異なった薬効分類 114（解熱鎮痛消炎剤）と、比較的差が小さかった 116（抗パーキンソン薬）について、2カ国間の共通の品目ごとに、含量と単価（ユーロ）の関係をグラフ化したものが図 3-6から図 3-7である。

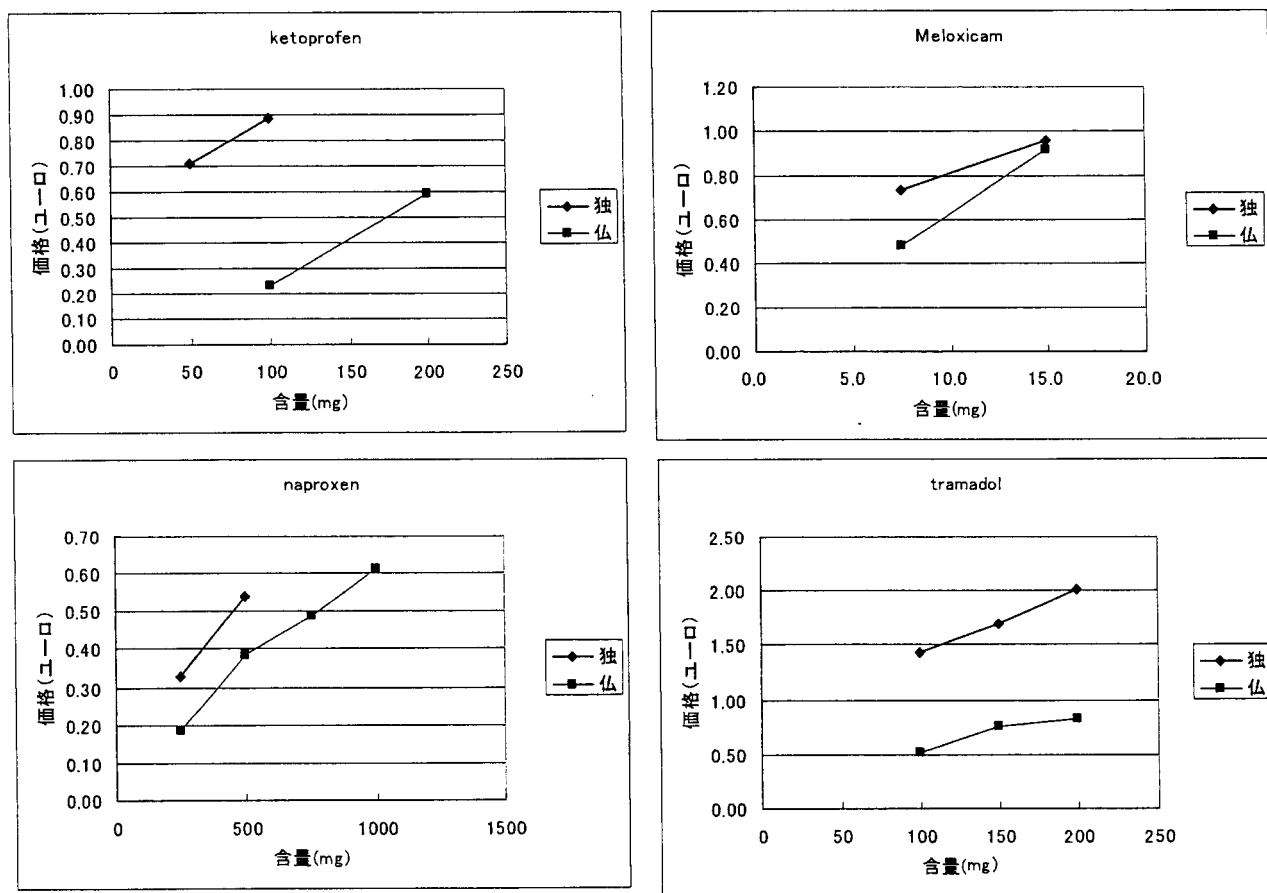


図 3-6 独仏の価格比較(114:解熱鎮痛消炎剤)

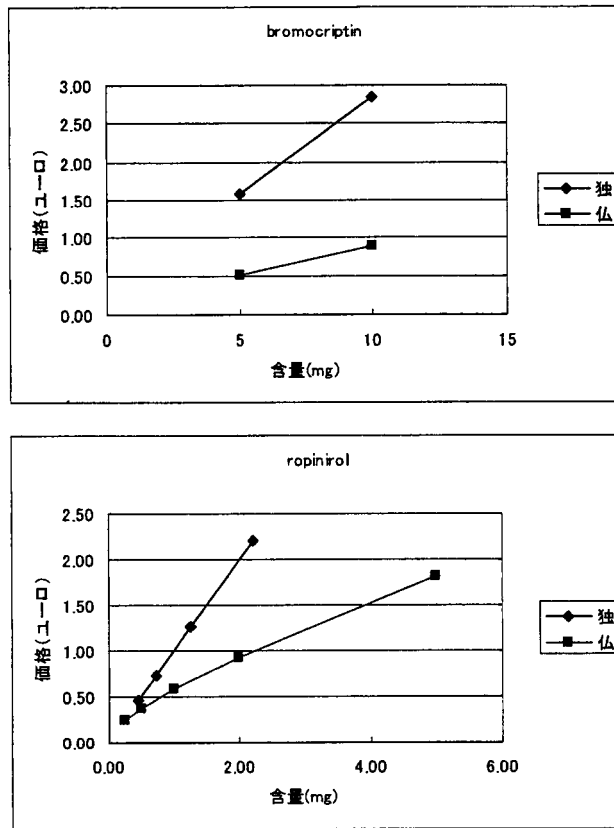


図 3-7 独仏の価格比較(119:抗パーキンソン薬)

これらの図からは、特に解熱鎮痛消炎剤において低含量の価格がドイツとフランスでは大きく異なり、ドイツにおいて大幅に高いことが分かる。ドイツにおいて全般的に価格の傾斜が小さいのは、低含量の価格が相対的に高めになっていることが、要因となっている可能性が想定される。

#### 4. フラットプライスが採用される条件についての仮説

市場で価格が設定される米国では、フラットプライスが最も多く、また、価格の傾斜のつけ方も薬効分類ごとに大きな差があり、こうした点からは企業の戦略的意図が大きく働いている可能性が想定される。

含量の増分に対する価格の増分の傾斜を見ると、各国での差が大きく、低い含量の価格が低いフランスでは、価格の傾斜が大きく、フラットプライスの率も低い。

また、薬効などの特性により、各国共通でフラットプライスが設定されているといった状況は見られず、成分別に見てもフラットプライスが採用されているものはまちまちである。

同じ成分であれば同じ企業により販売されているケースが多いにもかかわらず、国によってフラットプライスが採用されたりされなかったりすることから、薬価制度が価格の傾斜に影響していることが想定される。